

吾妻山砂防通信

第28号

川の働きを荒川で学びました！

～11月12日

佐原小学校5年生、6年生～



桂の葉。雨に濡れると甘い香りがします。



荒川づくり協議会の国原さんが荒川
の特性についておしえてくださいました。



地蔵原堰堤にて

荒川遊砂地大暗渠砂防堰堤
は長さが 252mあります。

当日の雨に負けず、皆さん元気に地蔵原堰堤・水防林・大暗渠堰堤を見学され、荒川の砂防・治水の歴史を学んでいただくことができました。

校庭一周分
ぐらい・・・？

茨城県砂防協会が砂防施設を視察しました！



登録有形文化財と言えば地蔵原堰堤！
紅葉も楽しめたのでは？



多くが山の中にあり、気軽に見に行けない砂防堰堤。
東鴉川第1砂防堰堤なら
ハイヒールでも見に行けます！

荒川第5砂防堰堤の
補修工事については
当紙第26号もご覧ください。



11月9日(金)茨城県砂防協会(32名)が荒川流域の砂防施設を視察しました。「登録有形文化財である砂防施設を視察したい」とのリクエストにより、地蔵原堰堤、荒川第5砂防堰堤、東鴉川第1砂防堰堤を視察箇所としました。特に荒川第5砂防堰堤は外観を損なわないよう補修工事を行っているため、興味をもたれたようです。

おめでとう 日本一！ 国土技術研究会 最優秀賞受賞！

10月25、26日に中央合同庁舎2号棟(東京都千代田区)にて行われた「国土技術研究会」の「一般部門(安全・安心)」において、当出張所三浦技術係長の発表が最優秀賞に選ばれました。



災害現場におけるGISシステムの活用について～台風12号 TEC-FORCEでの活用事例～

①

②

③

吾妻山山系砂防出張所 技術係長 三浦 英晃

TEC-FORCEの活動に関してより正確で効率的な災害支援活動を実現するため、GISシステムの活用を計画しました。

平成23年9月の台風12号によって発生した和歌山県田辺市熊野地区における河道閉塞(天然ダム)の災害対策にGISシステムを活用した状況、災害運用を踏まえた改良内容及びGIS活用により得られた成果について報告したものです。

①GISシステム: 地理情報システム。地理的位置を手がかりに、位置に関する情報を持ったデータ(空間データ)を総合的に管理・加工し、視覚的に表示し、高度な分析や迅速な判断を可能にする技術である。(国土地理院HPより)

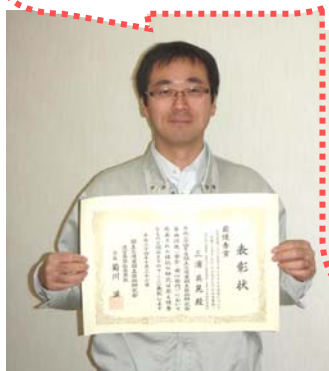
②台風12号: ここでは平成23年9月に近畿地方に甚大な被害を及ぼした台風を指す。

三浦技術係長はTEC-FORCE隊員として豪雨により引き起こされた河道閉塞(天然ダム)対応にあたった。

③TEC-FORCE(テックフォース): 緊急災害対策派遣隊。大規模自然災害が発生し、または発生するおそれがある場合に【被災状況の把握や被害の拡大防止】【災害応急対策に対する技術的な支援を円滑かつ迅速に実施する】ことを目的とする。TEC-FORCE隊員は国土交通本省、全国の地方整備局員などからなる。

東日本大震災でも発災翌日には8名の先遣隊が到着した。三日目からは約200名(ピーク時255名)のTEC-FORCE隊員が全国から被災地入りし、任務にあたった。

三浦技術係長から 受賞について ひとこと



被災地で活動した調査隊員全員と今回の栄誉を分かち合いたいと思います。また、関係機関の皆様にも心から御礼申し上げます。

今回の受賞は『災害対応経験の継承』や『研修等による技術研鑽』、『調査隊の装備品充実』といった整備局全体の取り組みとGISが融合した結果、実現できたものと考えます。今後も技術力向上に努め、吾妻山周辺の安全・安心確保に尽力いたします。



↑
GISシステムをタブレット端末に組み込むことで、現場で見たい情報を簡単に得られます。日常点検や災害対応、見学されるお客様への説明等への活用が期待されています。

お問い合わせはこちら

(ご意見・ご感想・砂防に関すること)

国土交通省 福島河川国道事務所

吾妻山山系砂防出張所(本庁舎)

〒960-2156

福島県福島市荒井字地藏原甲2-14

TEL 024-593-0831

吾妻山山系砂防出張所(松川庁舎)

〒960-2261

福島県福島市町庭坂字遠原三3-4

TEL 024-591-1207

H P <http://www.thr.mlit.go.jp/fukushima/>



松川砂防学習室の
お正月休み
12月27日(木)～1月6日(日)